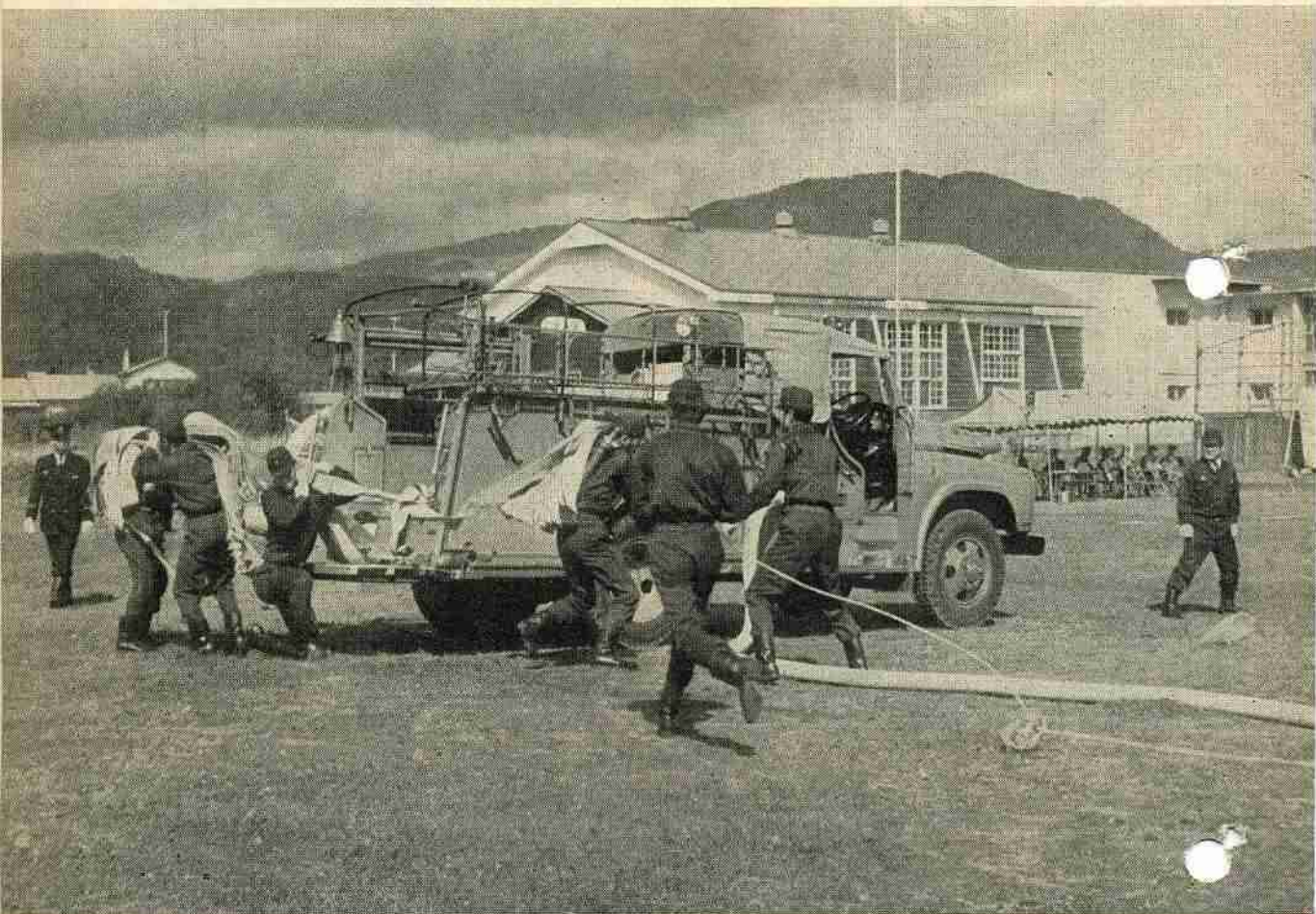


広報の馬がら



10 月号

No. 132

防火は、われらの手で

秋の消防演習

10月1日、消防署、5地区の分団、自衛隊消防班の各職員団員が集まって、消防演習がおこなわれました。

これは火災、災害にそなえて消防技術の向上と団体行動訓練を目標に小隊訓練、自動車ポンプ操法、放水訓練などを、4時間にわたっておこなったもので、雨天のなか各消防団員は日頃の訓練はもとより、本番さながらの消防演習をおこないました。

まれて2ヵ月

な事業が

市政をのぞく

8月1日、道内30番目の市としてスタートした登別市、市制施行式や記念式典など、あわただしいなか早くも2ヵ月になりました。

登別市は全国でも有名な温泉地として、また環境のよい住宅地してますます発展しています。

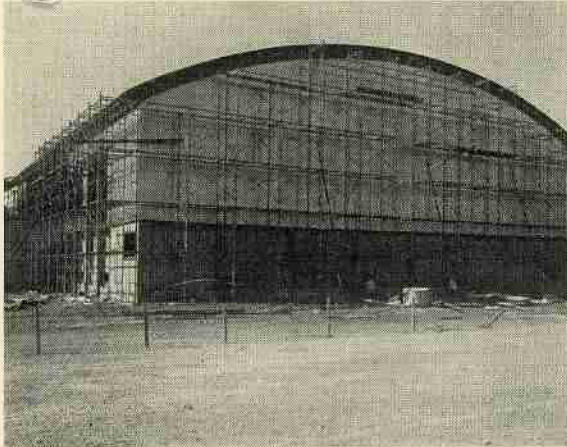
そこで今月は、うぶ声あげて2ヵ月目の登別市で進められている事業をひろってみました。

▼登別中学校屋内運動場新設工事

鉄骨造り

総工事費 2,790万円

竣工 45年10月10日



▲幌別東小学校屋内運動場新設工事

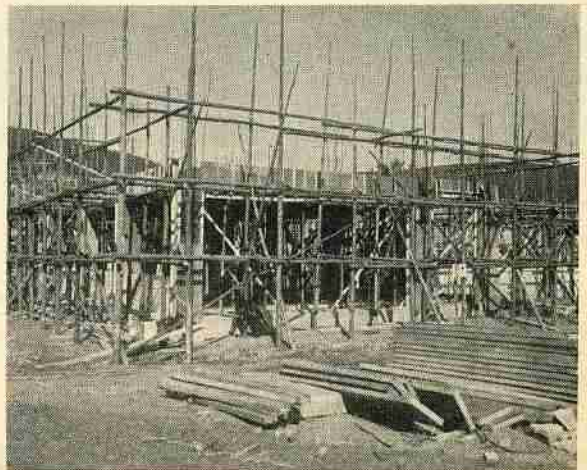
鉄骨造り

総工事費 1,359万円 竣工 45年10月30日

幌別東小学校増築工事

鉄筋コンクリート造り2階建

総工事費 5,443万円 竣工 45年10月30日



▲登別小学校分教場新設工事

鉄筋コンクリート造り2階建

総工事費 6,200万円

竣工 45年12月25日

上登別河川改修工事

登別川外2カ所

総工事費 778万円

竣工 45年11月20日



登別市 生

いまこん



▲公害住宅新設工事

補強コンクリートブロック

内装プレハブ 60戸

川上団地

総工事費 2,568万円

竣工 45年11月30日

西団地

総工事費 1,195万円

竣工 45年11月19日



▲排水路新設工事
U字管敷設
勝間百貨店横からバス停まで外十六カ所
総工事費 一、九〇五万円



▲市道舗装工事

総延長 2,200㍍

総工事費 5,494万円

▼富岸地区団体営農道整備事業

農道延長 1,080㍍

総工事費 2,313万円

竣工 45年11月30日



第3回定例議会



市に10月末移管される 新日鉄幌別会館

市議会(第三回定例議会)は、九月二十八、二十九、三十、十月一日、二日、三日の六日間、開かれました。

二十八日は、教職員に対する特別昇給制度の実施と教育予算の増額などの請願と、行政区域外への通学の請願が社会委員会付託とし開拓農業協同組合の資金援助などの請願は経済委員会付託となり、ほか例月出納検査などがなされました。

二十九日は公害防止対策についての報告のあと一般質問がありました。

三十日は、一般会計補正予算などの議案三件が審議されましたがなかで水道事業会計決算は決算審査特別委員会を設置して継続審査することになりました。

一日は市道路線の認定、変更について、教育委員会委員に、桜井弘氏を任命することの同意などの議案十八件が審議されました。

二日は新日本製鉄幌別会館の移管などの協議案四件と、失業対策事業制度の存続と高齡失業者就労事業の実施などの請願があり、この請願は社会委員会に付託となりました。

また、社会委員会と経済委員会に付託になっていました、特別昇給制度の実施と開拓農業協同組合の資金援助については採択されましたが、行政区域外への通学については継続審査となりました。

三日は、前日の協議案をそれぞれ了承し、二日に社会委員会付託となっていた、失業事業制度

の存続と高齡失業者就労事業の実施についてをそれぞれ採択し決議しました。

また、協議案の開拓農業協同組合の経営については了承しましたが、なお特別委員会を設けて継続審議することになりました。

名称は

来馬集会所

現在の新日鉄幌別会館を昭和四十五年十月末日に現状の土地、建別備品つきで、移管されることになりました。

この施設は行政財産として、利用方針の決定をみるまで、新日鉄社宅地区新和会に運営管理の全般をまかせ、一般市民に広く利用してもらい、また二階和室については従来どおり老人集会所として利用する。

この施設の使用料はすべて無料で、施設の維持補修または、運営管理に必要な経費については、市の負担とすることなどが協議され、了承を得ました。

市民の健康と 生活環境が第一

公害問題は戦後の技術革新を契機としたいろいろな産業の飛躍的な発展とそれにもない都市の過密、交通機関などによるものであり、この解決にあたっては国の

切離しては考えられない問題もあり、この解決にあたっては国の公害諸対策に期待するものが多くあります。しかしこの問題は市民の健康と生活環境などの日常生活

に密着した問題が多くあるので、この現状に対応するべく公害事務を住民課に移管し、つぎのことをおこないます。

・北海道公害防止条例の施行を機会に公害発生源の実態把握につとめます。

・市民生活と調和のとれた都市建設を進めるため、産業開発、都市建設にあたって公害の未然防止につとめ、市民の健康の保護と、生活環境の安全を保つていくようにします。

・公害問題の苦情陳情処理は関係機関と連絡をとり相談業務の強化と早期処理をおこないます。

・市内企業体にたいして、公害防止条例の趣旨、目的などの啓発指導を実施しています。

一般質問

二十九日、三十日の二日間、市政についての七名の議員から一般質問が活発におこなわれました。質問のおもな内容はつぎのとおりです。

問 現在の室蘭警察署派出所の署員のみでは、犯罪防止態勢が不十分と思われるが、市で独立した警察署の設置を急ぐべきと思うが。

答 すでに道警本部と室蘭警察署に陳情し検討してもらっているが、一日も早く設置できるようさらに運動していきたい。

問 登別地区の公衆浴場は、利用者数が過少なため経営不振で廃業し、市民の利用者がこま

ている。なんとか再建できるよう助成、または方法はなにかか。

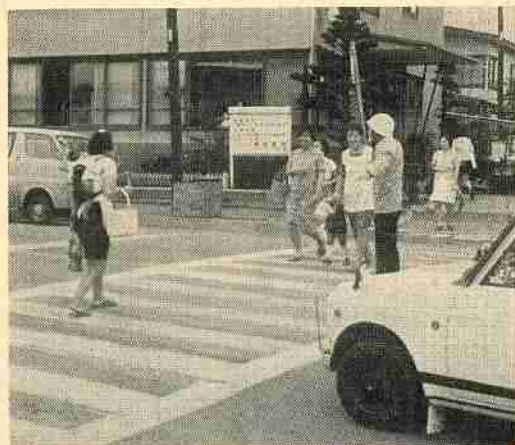
答 再建のための助成は無理と考えられるが、利用する住民の力がたによる、利用組合的なものにして、浴場を運営、管理していくことが、よい方法ではないかと考え、いま住民の意向をきいている。

問 児童をもつ父兄が負担する、教育に必要な経費は大きなものがある。そこで、市として小学校の児童に副読本を無償で配付できないか。

答 市内の全小学校が使っている社会科の副読本は、すでに無償で配付しているが、他の教科についてはその学校によって使用状況、あるいは種類がまちまちのため、むずかしい面がある。しかし、奨来、父兄負担の軽減を計るよう検討していきたい。

問 市道の舗装はまだ不十分であるので、強力におし進めてもらいたい。また、私道を市道とすることの認定計画についてどのように考えているか、聞きたい。

答 現在の市道全長は、一五〇〇メートルであるが、舗装されているのは五割であるので、昨年度から、五カ年計画で道路舗装を最重要施策として進め、四十八年度には十割までのばしたい。また私道については、ちくじ市道に昇格認定して、早やいうちに整備、舗装をおこなっていききたい。



あぶないよ
 横断歩道をわたって
 ことしの四月から、市内に四十六人の交通安全指導員が誕生しています。この指導員は、仕事のあいまを見て、市民の安全を願って、善意で街頭指導をおこなっているものです。

ある指導員は「意外に、交通ルールが守られていません。交通事故の多いこのごろ、親がまず手本をしめさなければ、幼い子どもは事故は減らないでしょう。わたしたちが街頭指導しなくても、ルールを守るのが、あたりまえなのですが、一とほもつともなお話。」

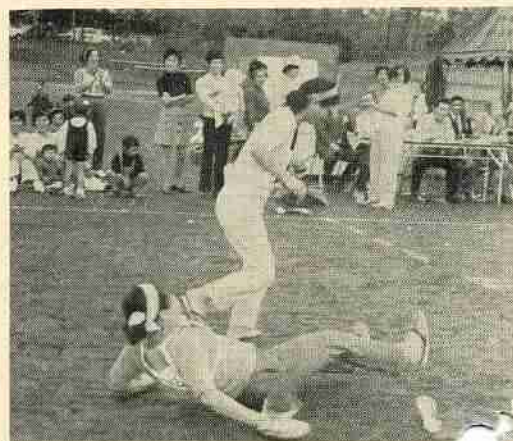


長生をして
 〇かかった
 九月十五日、敬老の日、市では市内各地区でおとしよりのかたに敬老年金をおくり、老をねぎらいました。

ここ中央公民館では、おとしよりのかた一〇二名ほどが集まり、市助役が一人一人にご苦労さんと年金を手渡し、また、婦人会のお手伝いでごちそうがくばられてたのしい一日をすごしました。



公害防止に一役
 「毎日のように新聞紙上にぎわす排気ガスによる公害をすこしでも防止できれば、常盤自動車(登別町)では排気ガス無料点検サービスを各所でおこなっていた。これは自動車排気ガス測定器をつけて、新車で四・五%、中古で五・五%以下におとし、すこしでも排気ガスが外にでない間をみてサービスしていきます」とはなかなかできないことです。みなさんの車は合格ですか。



かあちゃん
 痛くないぞ
 秋晴れのもと、市内のかあちゃん、約三〇〇名が集まり、かあちゃんオリンピックが市営球場でおこなわれた。

各地区、婦人会の精鋭選手はまけまいともうしろむきに走る「ぶりむかないで」という競技、勢いあまって顔倒「かあちゃん、痛くないぞ立って走んなよ、ぬかれるよ」とこどもそばで心配顔。かあちゃん、まけるながんばれ。

市の人口

9月末現在

総人口	46,714 (184増)
男	23,666 (92増)
女	23,048 (92増)
世帯数	12,883 (81増)

()内は先月との増減

市民交通傷害保険に加入しましょう

1カ月40円で交通事故を補償します。

手続きは、市役所交通安全係が各支所で。

今月の納税

- ◎固定資産税 (第2期)
- ◎自動車税 (第2期)

10月31日までです。忘れずに納期内に納めましょう。

安全ですか暖房器具は

使う前に注意を

十月に入ると、ほとんどの家庭や職場で、暖房器具を使いはじめます。

この時期は、例年火災の件数がふえ、春先について火災の多い時期となっています。

最近の火災の原因を調べてみますと、ストーブや煙突による火災が最も多くなっています。

暖房器具を取りつける前には、もう一度ストーブ、煙突、ストーブ台などをよくしらべ、ひびが入っているもの、破損しているもの、調子の悪いものなどは、新しいものと交換するか、専門業者に修理してもらってください。

ストーブ、煙突などは、ふすまや板壁などの燃えやすいものから離し、メガネ石もよくしらべて、破損しているものは取り替えるよ

うにしましょう。

薪ストーブやヤルンベンストーブでは、燃えにくいストーブ台を使い、床や畳との間に空間をとって通気をはかるようにして、またストーブに干し物の用具を取りつけることも、火災のもととなるので注意してください。

石油、プロパンにも

正しい知識を

石油やプロパン、ガスストーブが普及していますが、これらもちょっとした故障や取り扱いの不注意から思わぬ事故を起こすことがあります。

説明書をよく読んで正しく使用するようしてください。

石油(灯油)は、発火点が高いため、ガソリン程の危険性はありますが、ガソリンの温度があがると、ガ

ソリン同様危険なものとなります。

点火したまま油を補給したり、持ち運んだり、油もれや、こぼれた油をそのままにしておくことなどは絶対に禁物です。

プロパンガスは、空気の約一・五倍の重さがあり、もれると室内の低い所にたまり、ちよつとした火だねや、電気器具のスパークなどでも爆発します。使った後はかならず元栓をしめるようにしてください。

また、コンロやストーブに接続するゴムホースは二年に一度取りかえるようきめられています。時々しらべてみる必要があります。もし、故障したり、調子が悪いときには、すぐ販売店に連絡して完全になおしてから使うようにしてください。

☆

☆

☆

お知らせ

予防接種

インフルエンザの予防接種をつぎのとおりおこないます。

- ・該当者および料金
- ・ 歳以上 6歳未満 100円
- ・ 6歳以上15歳未満 150円
- ・ 15歳以上 250円

場所	日時	月 日	
		1 回	2 回
ひまわり園	1.00~1.30	10.26	11. 2
鶯別公民館	2.00~3.00	10.26	11. 2
幌別生活館	1.00~2.30	10.27	11. 4
堀尾医院	1.00~2.30	10.28	11. 4
登民会館	1.00~2.00	10.29	11. 5
温泉支所	2.00~2.30	10.30	11. 6

中学校卒業程度

認定試験をおこないます

試験は、病弱、発育不全その他やむをえない理由で卒業できないかた、また就学できなかったかたに、中学校卒業程度の学力があるかどうかを認定する試験です。これに合格されたかたは高校の入学資格がえられます。

要項はつぎのとおりです。

- ・受験資格 明年3月末で満15歳以上になるかた。
 - ・試験科目 一中学校の国語、社会、数学、理科、英語。
 - ・試験期日 一昭和45年12月4日(金)
- なお願書、出願手続きなどくわしいことは市教育委員会におたずねください。

公衆電話で電報がだせます。

電報電話局、郵便局のほか、店頭赤電話からも発信できます。そのさいは、お店のかたに申しでてください。

夜間や休日などで電報電話局、郵便局が利用できないときは、来馬町、登別温泉町の電報電話局前と登別町、幌別町の郵便局前のボックス公衆電話から発信できます。

電話で電報をだすときは115番(局番なし)にダイヤルしてください。

貯蓄で笑顔のある家庭を

10月1日から30日までの1か月間「貯蓄増強10月特別運動」が全国的におこなわれます。また10月17日は「貯蓄の日」です。みなさんの家庭に貯蓄の芽を育てるようにしましょう。

美 挙

(愛情銀行へ)

- 黒田庄之助(登別温泉) 50,000円
- 寺島 忠夫(幌別町) 50,000円
- 高見 芳男(登別町) 20,000円
- 登別高校生徒会 6,405円
- 幌別みどり母子会 5,000円
- 国分 恒次(来馬町) 2,000円
- 三好 秀一(幌別町) 2,000円
- 匿 名(幌別町) 500円
- 大野 基(来馬町) 古切手 1,000枚
- 木村 ノブ(幌別町) 古切手 600枚
- 石田 祥子(来馬町) 古切手 500枚
- 登別商工青年学院 古切手 300枚
- 匿 名(鶯別町) 衣類ほか 45点
- (市育英会へ)
- 佐々木一(登別温泉町) 5,000円

(一主編)



収集日以外はごみをださないように

ごみの収集日以外は、定位置にごみを持ちださないようにしてもらいたいと思います。

道路にだされたごみを、犬や猫が袋をやぶり、なかの汚物を附近にまきちらします。収集作業員はそのまきちらしたごみか、い汚物を全部とり去ってくれません。

このように市内の道路の美観をそこねるいっぽう、非常に不衛生なことです。

わたしは、収集後に残された汚物をかたづけ、そのあとへD・Tなどの薬剤を散布し、きれいにしておきますが、またすぐ非常識な奥さんがごみをだします。わたしは腹がたつてしようがありません。

これはわたしの住んでいるところだけのことではないと思います。市内に住む奥さまがた、一人一人の問題ではないでしょうか。

住んでいるこの登別市を自分の家と思ってごみの収集日以外には、つとめて外にださないように心がけていただきたく思うものです。